

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則

本競技会は2016年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行いますが、フライングルールについては、1人2回で失格とします。また、スタート合図は日本語で行います。

2. 練習

練習は8時15分まで全面使用できます。その後は南部記念ポール側のみとします。

3. 競技者の招集点呼

- (1) 招集点呼場所は、競技場第1ゲート付近(100mスタート側)で行います。
- (2) 招集開始時刻及び完了時刻は次のとおりとします。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の15分前
フィールド競技	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の15分前

ア. 出場者は上記の招集時間に招集所で点呼を受け、ナンバーカードの確認を受けて下さい。

イ. 他の方が代わっての点呼は認められません。

ウ. 招集完了時刻に遅れた者は、その競技を棄権したものと見なされます。

4. 競技場への入場と退場

- (1) スタート地点、競技場所への移動は係役員の指示に従うこと。選手以外は競技場に立ち入ることは出来ません。
- (2) 選手はメインスタンド前を通行しないで下さい(表彰時以外)。
競技終了後、トラック競技は第2ゲート(フィニッシュ地点側)を通り退場します。
フィールド競技は担当審判員の指示に従い退場します。

5. ナンバーカード(ゼッケン)

- (1) 選手はナンバーカードを背、胸にきちんと取り付けて下さい。
- (2) トラック種目およびリレーの最終走者は右腰やや後ろに番号布を付けます。

6. 走路順、試技順序

- (1) 予選のレーン順、試技順はプログラムに記載の順とします。
- (2) 決勝の組み合わせ、レーン順は本部抽選とし、招集場所に掲示します。
- (3) タイムレースの時、着差なしの同タイム者が多く、決勝のレーンが不足する時は同タイムの選手による本人または代理人の抽選とします。
- (4) トラック競技で棄権者のある時は、そのレーンをあけたままとします。
- (5) 短距離走のフィニッシュ後は安全のために自分のレーン(曲走路)にそって走り終わって下さい。

7. 競技について

- (1) 800m、1,500m、80mH、400mRで2組以上の場合はずべてタイムレースによる決勝とします。800mのスタートは本大会ではオープンで行います。
- (2) 100m決勝は予選の記録順位によるベスト8で行います。
- (3) リレーのオーダー用紙は招集開始時刻1時間前までに競技者係に提出して下さい。
(用紙は招集点呼場の競技者係からもらって下さい)
- (4) フィールド競技は3回の試技のみとし、ベスト8による決勝は行いません。
ジャベリックボール投げは間を少々空けての3連投とします(3回続けて投げる)。
- (5) 80mHはスタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからゴールまで11m。高さ70m、台数9台とします。

8. 競技用器具

用器具はすべて主催者側で用意したものを使用します。

9. 競技用靴

スパイクのピンの長さは、トラック種目は9ミリ以下、フィールド種目は12ミリ以下とします。(全天候舗装面及びスパイクシューズ保護のため)

10. 表 彰

- (1) 表彰は決勝記録発表後、ただちに本部前で行うので、各種目の3位までの入賞者はメインスタンド前の表彰者控え席に集合するようにして下さい。
- (2) 8位までの入賞者には賞状、3位までにはメダルを授与します。3,4年リレー優勝チームには優勝楯を授与します。又、5,6年リレー優勝チームには川崎杯を授与します。(川崎杯は持ち回りとし、次年度返還時にレブリカをお渡しします)なお、4位以下の賞状はエントランスホールに置いてあります。
- (3) 競技終了時に総合表彰があり、男女各1名に優秀賞の楯が授与されます。

11. そ の 他

- (1) 貴重品の管理は自分でしっかり行って下さい。
- (2) 準備運動をきちんとし、けがのないよう気をつけて競技にのぞんで下さい。
- (3) 自分たちの使用した場所や周辺の後始末等は自分たちの責任できちんとするようにして下さい。
- (4) ゴミは各自持ち帰って下さい。